

Title	編集後記
Sub Title	
Author	田村, 次朗(Tamura, Jiro)
Publisher	慶應義塾大学大学院法学研究科
Publication year	2001
Jtitle	法學政治學論究 : 法律・政治・社会 (Hogaku seijigaku ronkyu : Journal of law and political studies). No.50 (2001. 9) ,p.516- 516
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10086101-00000050-0516

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

〔編集後記〕

一 今回投稿された論文は二七点あったが、その内一六点を掲載することにした。

二 投稿された論文の中で、定形外のもがまだまだ見うけられる。定形外で投稿される論文は、審査の対象とならないので、十分注意していただきたい。

三 定形通りに提出することは、制限字数との関係で極めて重要である。制限字数は、あくまで定形に基づいてカウントされる。すなわち、「図および表は、一点あたり六〇〇字に換算する。注も字数に数える。字数はあくまで三〇字×二〇行×五四枚とする。空白部分も換算されるので、実際の字数が下まわっていたとしても考慮しない。」

四 ワープロの設定上、本文と注の字数の定形が異なるものがよく見うけられる。しかし、法学政治学論究は、短期間で公平な審査を行わざるを得ない時間的制約があるため、本文と注の字数を統一するよう遵守していただきたい。

五 提出期限後の論文の修正はすべて慶應義塾大学出版会の方で行われるので、編集委員会事務局宛への修正、校正の追加的提出は差し控えるようお願いしたい。掲載予定の論文に関する校正は一度行えるが、その段階で、最低限の修正のみ、加えるようにしていただきたい。

六 法学政治学論究への問い合わせがe-mailで行われること

があるが、この形での問い合わせは一切受け付けていない。郵送またはFAXにて問い合わせをするようにしていただきたい。

七 合格者に対して送付している論究執筆者紹介欄に生年月日の記入欄があるが、これは論文の掲載順決定の基準とするための情報として記入していただいている。しかし、この情報は法学政治学論究に掲載する必要はないとの委員長の判断で、今後は略歴の欄に生年は記載しないことに決定した。

八 今後も優れた論文が多数提出されることを期待している。

(田村次朗・記)